



## 平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月10日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6025 URL http://www.j-pcs.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 赤井 進二 TEL 06-6734-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第2四半期の業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	1,106	—	21	—	10	—	3	—
26年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	3.12	—
26年8月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成26年8月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年8月期第2四半期の数値及び平成27年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期第2四半期	759	416	54.8	313.65
26年8月期	703	287	40.8	276.05

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 416百万円 26年8月期 287百万円

(注) 当社は、平成26年7月30日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,612	8.0	135	12.3	121	0.5	70	6.9	56.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期2Q	1,327,700株	26年8月期	1,040,200株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	－株	26年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期2Q	1,186,471株	26年8月期2Q	－株

（注）当社は、平成26年8月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年8月期第2四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」の記載をしておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動や円安進行による物価上昇が一服しつつある中、個人消費に回復の兆しが見られ、緩やかな景気回復基調で推移しております。しかしながら、欧州経済の停滞や中国経済の減速等の日本市場への影響も懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

情報通信分野では、スマートフォン、タブレット端末の普及率が高まりを見せる中、パソコンの国内出荷台数は減少傾向にあります。他方、光回線の「サービス卸」の提供開始などにより通信キャリア各社の会員サービスが多様化しつつあり、付帯サービスの品質向上による差別化で加入者獲得の競争が激化すると予測される状況となっております。

このような状況のもとで、当社は企業理念である「1人ひとりのお客様に最適なスマートライフを！」に基づき、Webマーケティングならびに、既存提携企業との関係強化及び新規提携企業の開拓による集客力の向上に取り組んでまいりました。また、当社の会員サービス「アフターサービス保証」のプラン拡充などによる会員獲得に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,106,649千円、営業利益は21,354千円、経常利益は10,140千円、四半期純利益は3,701千円となりました。

当社の事業は、パソコンやタブレット端末、デジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問又は電話で対応、解決するサービスの提供を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。同事業はフィールドサポート事業と会員サポートセンター事業に区分され、売上高の状況は次のとおりであります。

## ① フィールドサポート事業

駆けつけサポートにおいて、札幌市へ新規出店を行い、直営店対応エリアを拡大するとともに、集客力の向上に努めてまいりました。また、代行設定サポートにおいて、既存の受託業務では委託元企業からの受託件数が減少しておりますが、新規に開始した太陽光発電システムの販売事業等により、既存の受託業務の件数減少を補う取り組みを進めてまいりました。これらの結果、フィールドサポート事業の売上高は986,875千円となりました。

## ② 会員サポートセンター事業

キャンペーン実施等の施策により、提携企業と会員獲得の促進に取り組み、また、「アフターサービス保証」の会員獲得に努めてまいりました。これらの結果、会員サポートセンター事業の売上高は119,773千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は759,341千円となり、前事業年度末に比べ56,052千円増加しました。

流動資産については636,296千円となり、前事業年度末に比べ57,571千円増加しました。これは主に、現金及び預金と売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産については123,044千円となり、前事業年度末に比べ1,519千円減少しました。これは主に、投資有価証券が減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は342,908千円となり、前事業年度末に比べ73,236千円減少しました。

流動負債については216,489千円となり、前事業年度末に比べ46,797千円減少しました。これは主に、未払消費税などその他及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債については126,419千円となり、前事業年度末に比べ26,438千円減少しました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は416,432千円となり、前事業年度末に比べ129,288千円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて50,336千円増加し、424,329千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は29,279千円となりました。これは主に、法人税等の支払額22,648千円、未払消費税等の減少額20,492千円、株式公開費用8,143千円、減価償却費6,908千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は7,616千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出3,800千円、有形固定資産の取得による支出3,068千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は87,180千円となりました。これは主に、株式の発行による収入123,356千円、長期借入金の返済による支出24,554千円によるものであります。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	388,996	439,334
売掛金	117,112	126,600
商品	29,396	27,516
その他	45,767	45,562
貸倒引当金	△2,548	△2,717
流動資産合計	578,725	636,296
固定資産		
有形固定資産	42,128	41,201
無形固定資産	7,456	8,343
投資その他の資産		
投資有価証券	37,789	36,341
その他	37,190	37,159
投資その他の資産合計	74,979	73,500
固定資産合計	124,563	123,044
資産合計	703,288	759,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,424	50,054
1年内返済予定の長期借入金	49,774	49,774
未払金	53,965	57,165
未払法人税等	24,764	3,652
賞与引当金	11,599	1,516
その他	78,759	54,327
流動負債合計	263,287	216,489
固定負債		
長期借入金	141,285	116,731
その他	11,572	9,688
固定負債合計	152,857	126,419
負債合計	416,145	342,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	125,320	188,800
資本剰余金	109,820	173,300
利益剰余金	46,429	50,130
株主資本合計	281,569	412,230
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,574	4,202
評価・換算差額等合計	5,574	4,202
純資産合計	287,143	416,432
負債純資産合計	703,288	759,341

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
売上高	1,106,649
売上原価	613,644
売上総利益	493,005
販売費及び一般管理費	471,650
営業利益	21,354
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	118
受取手数料	559
雑収入	1,001
営業外収益合計	1,718
営業外費用	
支払利息	1,185
株式交付費	3,603
株式公開費用	8,143
営業外費用合計	12,932
経常利益	10,140
税引前四半期純利益	10,140
法人税、住民税及び事業税	1,786
法人税等調整額	4,653
法人税等合計	6,439
四半期純利益	3,701

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	10,140
減価償却費	6,908
貸倒引当金の増減額(△は減少)	169
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,083
受取利息及び受取配当金	△157
支払利息	1,185
株式交付費	3,603
株式公開費用	8,143
為替差損益(△は益)	△51
売上債権の増減額(△は増加)	△9,487
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,157
仕入債務の増減額(△は減少)	5,629
未払金の増減額(△は減少)	3,199
未払費用の増減額(△は減少)	△2,716
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,492
その他	△2,777
小計	△5,627
利息及び配当金の受取額	157
利息の支払額	△1,159
法人税等の支払額	△22,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	△29,279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△10,004
定期預金の払戻による収入	10,002
有形固定資産の取得による支出	△3,068
無形固定資産の取得による支出	△3,800
投資有価証券の取得による支出	△608
その他	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,616
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△24,554
リース債務の返済による支出	△3,478
株式の発行による収入	123,356
株式公開費用の支出	△8,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,336
現金及び現金同等物の期首残高	373,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,329

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年11月26日付で、株式会社名古屋証券取引所セントレックスに上場いたしました。

株式上場にあたり、平成26年11月25日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式250,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加しております。

また、平成26年12月25日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式37,500株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ8,280千円増加しております。

この結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ63,480千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が188,800千円、資本剰余金が173,300千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、スマートライフサポート事業のみの単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。